キリスト教たんぽぽ教会　礼拝宣教ガイド　2020/10/4

「寄留の時に神を仰ぐ」
（ペテロの手紙第一　1章1節～2節）

牧師：原　雅幸

序）牧会とは何か。

・「牧会（Pastoral Care）」…「プロテスタント教会における、牧師のミニストリー、人間の魂への配慮である。」←世の中の理解：聖書的には不足。
・Pastoral＝羊飼い：主が私たちの羊飼い→牧会は、教会に託されたわざ。
・牧会の目標は、各自が主に結びつき、御心に生きられるようにすること。
・互いに牧会を受け、与えることができる。「受けるより与える方が幸い。」
・ペテロの手紙第一は、使徒ペテロによる「牧会」のわざである。

1）ペテロの向ける羊飼いのまなざし（1節）

・「散って」＝ディアスポラ：もともとは離散のユダヤ人を指す言葉。孤独・少数
・「寄留している人たち」＝外国人として住んでいる：よそ者扱いされやすい人々。
　違和感や制限を抱えながら生きざるを得ない。
→真摯にキリスト信仰に生きようとする者に普遍的に共通する「苦労の多い状態」である。これをペテロは見て取り、労をねぎらう思いをこめて語りかけている。
・「選ばれた人たち」…「あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び…ました。（ヨハネの福音書 15:16）」
→「選ばれた自分」から、「選んでくださった神」へと視点を移動させていく。

2）選んでくださった方はどんな方か（2節）

・私たちの選びは三位一体の神の一致したみわざによって行われた。
・「父なる神の予知」…時間概念の外側から計画されていたこと。
→「散らされ、寄留者」状態なのは、想定外のことではない。
・「御霊による聖別」…「神のとっておきの存在」としての選び。
→「散らされ、寄留者」状態なのは、目的がある。
・「イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように」…「従う」＋「血の注ぎかけを受ける」＝契約の民として、みことばに従い「神の祝福を受けて生きるとはどういうことか」を世に示す使命
→古い契約では、エルサレム神殿で行われるいけにえの儀式に近い必要があった。しかし新しい契約では、主イエスの十字架の卓越性ゆえに、場所のこだわりがなくなった。だから「散らされ、寄留者」でも大丈夫！

結）問題の除去ではなく、問題を乗り越える「恵みと平安」を！

・あなたが向き合っている問題が何であれ、恵みと平安を求め、これをいただけると確信して、みことばに従うことである。

キリスト教たんぽぽ教会　こども礼拝ガイド　2020/10/4

名前（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

◆お話を聞きながら、答えを考えましょう。

① 私たち人間が「羊」にたとえられるとき、神さまは何にたとえられますか。

② つぎの□に当てはまることばは何でしょう。

・イエス様を信じた人は、神様に□□□□□人です。

・イエス様を信じた人は、神様にとって□□□□□の存在となります。それが「聖別」のやさしい意味です。

◆お話を聞いた後で、考えましょう。

＊ あなたは、どういう時に「孤独」や「よそ者扱いされている」と感じますか。

＊ あなたは、今、どんな「恵み」や「平安」がほしいですか。

みんなで一週間考えてこよう！

～教会クイズ（教理問答）～

Q022　「イエス・キリスト」という言葉の意味を教えてください。

A022　「イエス」とは「主は□□□」という意味のお名前です。

「キリスト」とは□□□注がれた者という意味です。

わたしたちはイエス・キリストという名前を呼ぶことで、この方が唯一の□□□□□だと告白しているのです。

📖ヒント📖　イザヤ 61:1、マタイ 1:21、ヨハネ 1:40-42、使徒 4:10-12、使徒 10:34-38、ヘブル 1:5-9